

特殊浴槽が新しくなりました。

先日、介護老人保健施設に導入されている特殊浴槽が1台新しくなりました。入浴は、高齢者にとって楽しみのひとつですが、危険度の高い生活行動の一つとなっており、スタッフにとって、精神的、身体的に負担のかかる介助項目になっています。

今回導入した特殊浴槽は、リフトなどの介助負担を軽減する機能がいくつもあり、スタッフも以前より利用者さんに気配りしながら介助できるようになりました。また、寝たきりの利用者さんでも無理なく入浴できる構造になっており、以前よりも多くの利用者さんに入浴を楽しんでいただけるようになりました。



▲新しい特殊浴槽

PCR検査機器を導入しました。

なごみ診療所ではこれまで、新型コロナウイルスの検査として簡易的な抗原検査と、唾液採取による精度が高いPCR検査を実施してきましたが、PCR検査の判定は、外部に委託していたため結果が出るまでに1日かかっていました。また、ご高齢の方は唾液採取がスムーズにできず検査が困難な状況にもありました。

今回導入したPCR測定機器では、短時間(約60分)で正確な測定ができ、鼻咽頭ぬぐい液で、どなたでも気軽に検体採取ができるようになりました。本機器は予約制の発熱外来で利用しますので、受診をご希望される方は事前にご連絡をお願いいたします。

※PCR検査の実施は、診察させていただく医師の判断になります。患者様の希望でも検査を実施できない場合がありますので、ご了承ください。



▲PCR検査機器

職員挨拶 第8回 グループホーム 主任介護福祉士 稲垣由美

グループホームで介護支援専門員として勤務させていただいています稲垣由美です。グループホームとは、認知症の高齢者が、より家庭的な雰囲気の中で、介護スタッフと共同生活を営みながら、安らぎのある自分らしい生活を送るための住居です。

当ホームはなごみ診療所の2階にあり、自然に囲まれた環境の中でゆったり、のんびりとした時間が流れています。天気の良い日には施設周辺を散歩したり、ホーム内ではレクリエーションで体を動かしたり、手作業や家事など様々な活動を楽しみながら生活しています。また、併設の診療所があることで、医療面においても万全のバックアップ体制があるため、安心して過ごすことができます。

今後も入居者の皆様、元気に楽しく過ごしていただけるように支援していきます。今後ともよろしく願いいたします。



熱中症もコロナも予防しよう!

暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ



のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- ・1日あたり
1.2L(1.2リットル)を目安に



1時間ごとに コップ1杯 入浴前後や起床後も
まず水分補給を

ペットボトル 500mL 2.5本
コップ約6杯


- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに



エアコン使用中も こまめに換気をしましょう (エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど2か所を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定



暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で適度に運動(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度)



水分補給は忘れずに!

- ・毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
- ・体調が悪い時は、無理せず自宅で静養

マスクをはずしましょう



屋外で
人と2m以上
(十分な距離)
離れている時

屋内でも屋外でも、十分な距離を保てない場合は、マスクを着用しましょう!
マスクを着用しているときは、激しい運動を避け、定期的に水分を補給しましょう。

引用:環境省・厚生労働省「新しい生活様式を健康に」令和2年6月

- 年間、約1600人の方が熱中症で亡くなっています。
- 約8割が高齢者で、半数以上の方が、自宅で発症しています。
- 軽い症状でも、油断せず早めに涼しい場所で休み、水分・塩分を補給しましょう。
- 中～重度の場合は、医療機関に相談しましょう。